

平成 30 年 2 月 25 日 (日) 施行

第 148 回 日商簿記検定試験 2 級 解説

第 1 問

1. 仕入時 :

(借)	仕	入	5,000,000	(貸)	買	掛	金	5,000,000
-----	---	---	-----------	-----	---	---	---	-----------

支払期日より早期に掛代金を支払った場合、その利息分を掛代金から控除することとなる。その利息分は仕入割引(収益)で処理する。

仕入割引 : $買掛金 ¥5,000,000 \times 0.1\% = ¥5,000$

2. 備品を除却した場合、見積処分価額を貯蔵品で処理する。備品の帳簿価額と処分価値との差額を固定資産除却損(益)に計上する。

除却損 : $帳簿価額(取得原価 ¥800,000 - 減価償却累計額 ¥720,000) - 貯蔵品 ¥50,000 = ¥30,000$

3. 剰余金を取崩し、その他資本剰余金を資本準備金に、繰越利益剰余金を利益準備金に組み入れる。

4. 売上割戻を行った場合は、売上高から前期末に計上している割戻引当金を取り崩し、残額を売上で処理する。

5. 取引発生時掛売上

(借)	売	掛	金	46,000,000	(貸)	売	上	46,000,000
-----	---	---	---	------------	-----	---	---	------------

$400,000 \text{ ドル} \times \text{取引発生時の直物レート} ¥115 = ¥46,000,000$

為替予約時

(借)	為	替	差	損	益	800,000	(貸)	売	掛	金	800,000
-----	---	---	---	---	---	---------	-----	---	---	---	---------

為替予約を行った場合、取引発生時の為替レートと予約レートとの差額は為替差損益として処理する。

取引時掛代金 $¥46,000,000 - 400,000 \text{ ドル} \times \text{予約レート} ¥113 = ¥800,000$

第2問

① 2月1日 有価証券の購入

(借) 売買目的有価証券	294,000	(貸) 当座預金	294,100
有価証券利息	100		

売買目的有価証券：額面総額 $\text{¥}300,000 \times @ \text{¥}98.00 / @ \text{¥}100 = \text{¥}294,000$

有価証券利息：額面総額 $\text{¥}300,000 \times \text{利率} 0.4\% \times 1 \text{ か月 (平成 29 年 1 月)} / 12 \text{ か月} = \text{¥}100$

② 4月1日 満期保有目的債券の購入

(借) 満期保有目的債券	591,000	(貸) 当座預金	591,000
--------------	---------	----------	---------

額面総額 $\text{¥}600,000 \times @ \text{¥}98.50 / @ \text{¥}100 = \text{¥}591,000$

③ 6月30日 利息の受取

(借) 当座預金	600	(貸) 有価証券利息	600
----------	-----	------------	-----

額面総額 $\text{¥}300,000 \times 0.4\% \times 6 \text{ か月 (平成 29 年 1 月} \sim 6 \text{ 月)} / 12 \text{ か月} = \text{¥}600$

④ 10月1日 有価証券の売却

(借) 当座預金	98,700	(貸) 売買目的有価証券	98,000
		有価証券利息	100
		有価証券売却益	600

売買目的有価証券：額面総額 $\text{¥}100,000 \times @ \text{¥}98.00 / @ \text{¥}100 = \text{¥}98,000$

有価証券利息：額面総額 $\text{¥}100,000 \times 0.4\% \times 3 \text{ か月 (平成 29 年 7 月} \sim 9 \text{ 月)} / 12 \text{ か月} = \text{¥}100$

当座預金：額面総額 $\text{¥}100,000 \times @ \text{¥}98.60 / @ \text{¥}100 + \text{有価証券利息} \text{¥}100 = \text{¥}98,700$

有価証券売却益：差額より

⑤ 12月31日 利息の受取

(借) 当座預金	400	(貸) 有価証券利息	400
----------	-----	------------	-----

額面総額 $(\text{¥}300,000 - \text{¥}100,000) \times 0.4\% \times 6 \text{ か月 (平成 29 年 7 月} \sim 12 \text{ 月)} / 12 \text{ か月} = \text{¥}400$

12月31日 決算整理(1) 有価証券の評価

(借) 売買目的有価証券	1,600	(貸) 有価証券評価益	1,600
--------------	-------	-------------	-------

額面総額 $(\text{¥}300,000 - \text{¥}100,000) \times (\text{時価} @ \text{¥}98.8 - \text{原価} @ \text{¥}98.00) / @ \text{¥}100 = \text{¥}1,600$

12月31日 決算整理(2) 利息の見越計上・債券の評価

(借) 未収有価証券利息	2,700	(貸) 有価証券利息	2,700
満期保有目的債券	1,350	有価証券利息	1,350

未収有価証券利息：額面総額 $\text{¥}600,000 \times 0.6\% \times 9 \text{ か月 (平成 29 年 4 月} \sim 12 \text{ 月)} / 12 \text{ か月} = \text{¥}2,700$

満期保有目的債券：(額面総額 $\text{¥}600,000 - \text{取得価額} \text{¥}591,000$)

$\times 9 \text{ か月 (平成 29 年 4 月} \sim 12 \text{ 月)} / 60 \text{ か月} = \text{¥}1,350$

第3問

1. 連結開始仕訳

① 投資と資本の相殺消去

(借) 資 本 金	100,000	(貸) S 社 株 式	200,000
資 本 準 備 金	20,000	非 支 配 株 主 持 分	30,000
利 益 剰 余 金	30,000		
の れ ん	80,000		

非支配株主持分：S社純資産¥150,000×20%=¥30,000

のれん：S社株式¥200,000－P社持分(S社純資産¥150,000×80%)=¥80,000

② のれんの償却

(借) 利 益 剰 余 金	4,000	(貸) の れ ん	4,000
---------------	-------	-----------	-------

のれん¥80,000÷20年=¥4,000

③ 純利益の非支配株主持分への振替え

(借) 利 益 剰 余 金	1,200	(貸) 非 支 配 株 主 持 分	1,200
---------------	-------	-------------------	-------

前期純利益=利益剰余金¥60,000(個別財務諸表より)－当期純利益¥24,000(個別財務諸表より)
 －取得時利益剰余金¥30,000(問題文より)=¥6,000

¥6,000×20%=¥1,200

2. 当期の連結修正仕訳

① のれんの償却

(借) の れ ん 償 却	4,000	(貸) の れ ん	4,000
---------------	-------	-----------	-------

のれん¥80,000÷20年=¥4,000

② 純利益の非支配株主持分への振替え

(借) 非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	4,800	(貸) 非 支 配 株 主	4,800
-----------------------------------	-------	---------------	-------

当期純利益¥24,000×20%=¥4,800

③ 債権債務等の相殺消去

(借) 買 掛 金	180,000	(貸) 売 掛 金	180,000
借 入 金	60,000	貸 付 金	60,000
未 払 金	18,000	未 収 入 金	18,000
未 払 費 用	900	未 収 収 益	900
売 上 原 価	860,000	売 上 高	860,000
支 払 利 息	1,500	受 取 利 息	1,500

④ 商品の未実現の消去

(借) 売 上 原 価	42,000	(貸) 商 品	42,000
-------------	--------	---------	--------

商品¥140,000×売上総利益率30%=¥42,000

⑤ 土地の売却益の消去

(借) 土 地 売 却 益	6,000	(貸) 土 地	6,000
---------------	-------	---------	-------

第4問

問題文より、原価計算表を作成する。

原 価 計 算 表

(単位：円)

	# 180201	# 180202	# 180203	合 計
直接材料費	480,000	624,000	432,000	1,536,000
直接労務費	644,000	854,000	392,000	1,890,000
直接経費	—	186,000	—	186,000
製造間接費	138,000	183,000	84,000	405,000
合 計	1,262,000	1,847,000	908,000	4,017,000
備 考	完成	仕掛中	仕掛中	

直接材料費：

 $\# 180201 : \text{予定消費単価} @ \text{¥}24,000 \times \text{消費量 } 20 \text{ 台} = \text{¥}480,000$
 $\# 180202 : \text{予定消費単価} @ \text{¥}24,000 \times \text{消費量 } 26 \text{ 台} = \text{¥}624,000$
 $\# 180203 : \text{予定消費単価} @ \text{¥}24,000 \times \text{消費量 } 18 \text{ 台} = \text{¥}432,000$

直接労務費：

 $\# 180201 : \text{予定平均賃率} @ \text{¥}1,400 \times \text{直接作業時間 } 460 \text{ 時間} = \text{¥}644,000$
 $\# 180202 : \text{予定平均賃率} @ \text{¥}1,400 \times \text{直接作業時間 } 610 \text{ 時間} = \text{¥}854,000$
 $\# 180203 : \text{予定平均賃率} @ \text{¥}1,400 \times \text{直接作業時間 } 280 \text{ 時間} = \text{¥}392,000$

直接経費：

 $\# 180203 \text{ のみ、外注加工賃 } \text{¥}186,000$

製造間接費：

 $\text{予定配賦率} : \text{年間製造間接費予算額 } \text{¥}5,040,000 \div \text{年間予定直接作業時間 } 16,800 \text{ 時間} = @ \text{¥}300$
 $\# 180201 : \text{予定配賦率} @ \text{¥}300 \times \text{直接作業時間 } 460 \text{ 時間} = \text{¥}138,000$
 $\# 180202 : \text{予定配賦率} @ \text{¥}300 \times \text{直接作業時間 } 610 \text{ 時間} = \text{¥}183,000$
 $\# 180203 : \text{予定配賦率} @ \text{¥}300 \times \text{直接作業時間 } 280 \text{ 時間} = \text{¥}84,000$

上記より

仕 掛 品

材 料	1,536,000	製 品	1,262,000
賃金・給料	1,890,000	月 末 有 高	2,755,000
現 金	186,000		
製造間接費	405,000		
	<u>4,017,000</u>		<u>4,017,000</u>

製造間接費

実際発生額	422,000	予定配賦額	405,000
		原 価 差 異	17,000
	<u>422,000</u>		<u>422,000</u>

第5問

1. 加工費配賦予定配賦率＝加工費予算額(年間)¥81,900,000÷予定直接作業時間(年間)18,000時間
＝@¥4,550

A製品への加工費配賦：予定配賦率@¥4,550×当月直接作業時間450時間＝¥2,047,500

B製品への加工費配賦：予定配賦率@¥4,550×当月直接作業時間800時間＝¥3,640,000

2. 原価計算表の完成

A製品

		原料費 (kg)			
187,000 円	月初	100	完成	1,900	3,067,000 円
3,200,000 円	当月	2,000			
			月末	200	320,000 円

月末仕掛品原価： ¥3,200,000÷2,000kg×200kg＝¥320,000

当月完成品原価： (¥187,000+¥3,200,000)－¥320,000＝¥3,067,000

		加工費 (kg)			
63,500 円	月初	50 =100×50%	完成	1,900	2,006,000 円
2,047,500 円	当月	1,950 =1,900+100 -50			
			月末	100 =200×50%	105,000 円

月末仕掛品原価： 2,047,500÷1,950kg×100kg＝¥105,000

当月完成品原価： (¥63,500+¥2,047,500)－¥105,000＝¥2,006,000

B製品

減損は工程の途中で発生した正常なものであり、正常減損の処理は度外視法により、完成品と月末仕掛品の両者に負担させる。

		原料費 (kg)			
497,500 円	月初 300	完成 2,750			5,642,500 円
6,195,000 円	当月 2,950				
	=2,750+500 -300	仕損 200			
		月末 500			1,050,000 円

月末仕掛品原価： $\text{¥}6,195,000 \div 2,950\text{kg} \times 500\text{kg} = \text{¥}1,050,000$

当月完成品原価： $(\text{¥}497,500 + \text{¥}6,195,000) - \text{¥}1,050,000 = \text{¥}5,642,500$

		加工費 (kg)			
217,500 円	月初 150	完成 2,750			3,597,500 円
	=300×50%				
3,640,000 円	当月 2,800				
	=2,750+200 -150	仕損 100			
		月末 200			260,000 円
		=500×40%			

月末仕掛品原価： $\text{¥}3,640,000 \div 2,800\text{kg} \times 200\text{kg} = \text{¥}260,000$

当月完成品原価： $(\text{¥}217,500 + \text{¥}3,640,000) - \text{¥}260,000 = \text{¥}3,597,500$

3. B製品の完成品単価の計算

(B製品原料費完成品原価¥5,642,500 + B製品加工費完成品原価¥3,597,500)

÷ 完成品数量 2,750kg=@ ¥3,360